

## 平成28年1月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年1月 数量 (トン)	H28年1月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産(三浦)・千葉県産(銚子)中心の入荷でした。低温や降雨・降雪の影響により入荷は減少しましたが、価格は低迷推移となりました。	815	58	101%	63%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産の販売が中心でした。両産地とも大玉中心でした。	540	52	72%	118%
3		きゅうり	低温悪天候の影響により生育が遅れ、入荷量は大幅に減少しました。産地は宮崎県・群馬県・千葉県・茨城県が中心でした。	253	475	85%	106%
4		ほうれん草	暖冬の影響により年内出荷が前進しました。年明け以降は冷え込みと共に入荷は減少しました。	79	525	89%	91%
5		馬鈴薯	降雪の影響により輸送が乱れた等の理由により品薄傾向になりました。そのため、単価は上昇し単位高となりました。	226	128	106%	118%
6	果実	みかん	天候不順と前進出荷の影響により品薄となりました。そのため、静岡県産中心に数量減の単位高となりました。	613	347	77%	151%
7		ふじ	台湾への輸出出荷で国内売りが品薄状態となりました。	345	292	95%	111%
8		いちご	1月上旬は天候も良く、気温も高く推移した為、前年を上回る入荷により単価も低調でした。中旬以降、悪天候が続く気温も低下し前進出荷の影響もあり、大きな谷間が発生し入荷量が激減しました。単価が回復し前年を上回る状況でしたが数量の穴埋めはできませんでした。	96	1,502	68%	100%